

トレーナー活動
感染対策ガイドライン
2022年度 ver

(公財) 日本水泳連盟 医事委員会



トレーナー活動 感染対策ガイドラインの作成にあたり

- **各自が感染している可能性がある**ことを認識して行動してください。
- トレーナー活動にあたり、**複数選手を施術することは感染拡大につながる**ことを認識して行動してください。

以下の目的のために本ガイドラインを遵守していただきますようお願い申し上げます。

- ◆ 選手やトレーナー、その家族の健康・生命を守る
- ◆ 医療提供体制、社会生活を守る
- ◆ 水泳競技やその大会の運営を守る
- ◆ トレーナー活動を守る

トレーナー準備品／会場持ち込み品

• 必須物品

✓ マスク

✓ 消毒物品（濃度70%以上のエタノール消毒剤 or 除菌シート）

手指消毒用+ベット等備品消毒用

✓ 非接触型温度計 or 腋窩式体温計

✓ ペーパータオル

✓ 廃棄物用ビニール袋 （毎日、持ち帰って廃棄）

✓ マッサージベット（消毒済みのもの）

• 推奨物品

✓ ディスポーザブルカバー ✓ グローブ

トレーナー活動で遵守すること

① 体調管理と記録

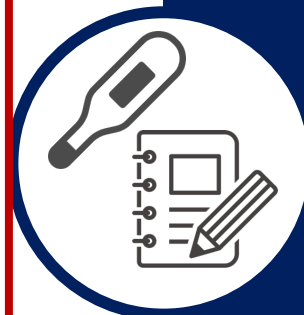
<トレーナー対応前>

◆ 選手の体調の確認

◆ 対応時間、選手名を記録（3週間保管）

対応の
中止基準

- ✓ 37.5度以上の発熱(選手/トレーナー)
→ 37.5度以上の場合, 5分程度安静にし
再検査を実施
→ それでも下がらない場合は救護員に報告
- ✓ 平熱より1度以上高い体温
- ✓ 体調不良時



体調不良者等は救護室に移送せず、競技役員
または救護員に報告し指示を仰ぐこと

② マスクの着用 飲食時の対応

- 常に選手、トレーナーはマスクの着用を厳守
- マスクは鼻まで覆う
- 飲食時などマスクを外す場合には会話を制限する



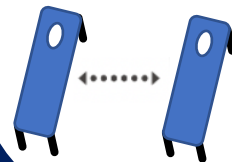
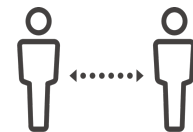
③ 手洗い・手指消毒

- 各選手対応前に流水、石けんを用いた手指洗浄または手指消毒を必ず行う
- 対応毎に接触部位を消毒する
(手、肘、前腕 など)



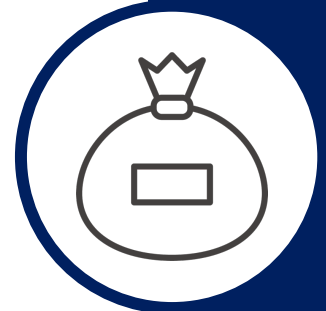
④ 身体的距離と換気

- 他のトレーナー・選手と一定の距離を保ち
ベッド間の距離も極力離すようにする
- 可能な限り換気をする



⑤ 物品管理・消毒

- 各選手対応毎にトレーナーベッド、使用物品の消毒を行う
- タオルを使用する場合、各選手対応毎に未使用品を利用するか、選手持参のものを利用し、共用を避ける
- 使用済みタオルや廃棄物はビニール袋に密封した状態とし、各チームで処理する



⑥ コンプライアンス

- 本ガイドラインが遵守されない団体はトレーナー活動を禁止する場合がある
- 競技役員からのアナウンスまたは注意喚起があった場合は従うこと
- 感染対策上必要と判断される場合には本ガイドラインを改定することがある

